

質問回答書

入札参加者 殿

支出負担行為担当官
東京航空局長 今井 和哉

件名:丘珠空港航空機騒音等調査業務

NO.	質問事項	回答
1	I.基礎調査 2)航空保安施設等の計画検討について 「7-4 業務内容」では「航空保安施設(航空無線施設及び航空灯火施設等)及び気象施設」の3施設を対象とする旨の記載となっております。 一方、「5. 業務内容」では資料収集整理の対象が「無線、灯火」の2項目、計画検討・課題の抽出整理・資料作成についてはすべて数量が1項目となっております。 「5. 業務内容」に記載されている数量と「7-4 業務内容」に記載されている対象施設のうち、どちらが正しいでしょうか？	本業務における数量につきましては、「5. 業務内容」に記載されている数量を適用願います。 「資料収集整理」の対象は「無線、灯火」の2項目です。 「計画検討」・「課題の抽出整理」・「資料作成」については「航空保安施設等の計画検討」に係る項目として数量は1項目とします。
2	II. 航空機騒音調査 1)地上運用に係る実態の把握 (3)ヒアリング調査による運用実態の把握について 「5. 業務内容」の表の数量の列は3となっております。 一方、表の業務内容列における記載は、丘珠駐屯地1者と民間事業者の3者の合計4者となっております。 数量と業務内容に記載されている対象者数のうち、どちらが正しいでしょうか？	ヒアリング調査による運用実態の把握に係る対象数量は3箇所となります。 丘珠駐屯地、民間事業者(2者)計3者という意味です。
3	II. 航空機騒音調査 1)地上運用に係る実態の把握 (1)現地測定調査について 「5. 業務概要」によると民航機・防衛機でそれぞれ7日分の現地測定調査を想定されていますが、民航機と防衛機はそれぞれ同日に調査実施とするのか、もしくは別日(7+7=14日)での調査実施となるのか、考え方を教えてください。合わせて、旅費の考え方についても、移動費、宿泊費等を何日間で計上されているか教えてください。	民航機・防衛機でそれぞれ7日分計14日の現地測定調査を行うこととする。同日または別日に調査を実施するかは、受注者の判断とする。 現地測定調査に係る旅費については、計上していません。必要に応じて別途調査職員と協議の上、設計変更する考えです。
4	II. 航空機騒音調査 3)騒音予測用基礎データ調査 (1)騒音データの現地測定調査について 「5. 業務概要」によると調査が7日間、機器設置及び撤収が各1日の計9日間を要すると思われそうですが、1)地上運用に係る実態の把握 (1)現地測定調査で要する日数とは別で9日間を計上する認識でよろしいでしょうか。旅費の考え方について教えてください。	ご認識のとおり。「1)地上運用に係る実態の把握」と「3)騒音予測用基礎データ調査」の現地測定調査で要する日数は別で計上する。 旅費の考え方については、上記3項と同様です。